

埼玉県内の学校にお勤めの教職員のみなさま

埼玉大学教職大学院生のみなさま

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター主催

「第1回教育実践総合セミナー」のおしらせ

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センターは、学内外の関係諸機関との連携のもとに教育実践に関する理論的かつ実際的な研究及び教育を行い、教員養成及び教員研修に資することを目的に掲げています。

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」以降の「新しい教師の学びの姿」の中で、研修履歴簿を活用した対話による受講奨励も進められ、新しい研修観に則した研修コンテンツや研修会の充実が求められています。そこで、附属教育実践総合センターでは学校での勤務経験のある本センター教員による学校の教育課題についての対話・ワークショップ型の研修会を開催します。

みなさまの参加をお待ちしています。

1 開催日時

令和6年8月5日(月)、7日(水)、8日(木)、9日(金)

いずれも13:00～16:30(受付開始12:20)

※ 申し込みは、日(テーマ)ごとになります。

2 開催場所

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター

さいたま市浦和区常盤6-9-44

※ 本セミナーは対面方式で実施します。

3 内容・募集人数

裏面を参照ください。

4 参加対象者

埼玉県内の学校にお勤めの教職員(採用形態は問いません)

埼玉大学教育学研究科現職大学院生・同学卒の大学院2年生・大学院修了者

5 参加費 無料

6 主催・後援

主催：埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター

後援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

7 備考

テーマごとに修了証を発行する。

※参加ご希望の場合は、左下のQRコード、または下記のお申込みフォームよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/WMWzwBcFiZ>

申込締切：7月29日(月) 定員になり次第、締め切ります



お問い合わせ先：埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター
さいたま市浦和区常盤6-9-44

e-mail：saidai-jissencenter@gr.saitama-u.ac.jp

電話：048-832-9866 (月・水・金のみ)

I 研修テーマ

テーマI (8月5日) 学校の諸課題、働き方改革 担当：教育実践総合センター教授 浅海 純一

「皆さんと協議して学校現場の諸課題を乗り越えよう！」

学校現場の教育活動の多様化や複雑化により、従来の教員の感覚では対応が難しくなっている状況の中で、国や自治体が進めている働き方改革の今後の在り方やそれに対する学校現場の対処方法について、現場の皆さんの意見をいただきながら、負担や負担感をどう乗り越えていくかを議論していきたいと考えています。

また、教員不足が深刻化する今日、教員を目指す若者や若手教員に対して、教員のやりがいや魅力をどう発信していくかも、議論してみたいと考えています。

テーマII (8月7日) 教育課程 担当：教育実践総合センター教授 石田 耕一

「日々の教育活動を生かすカリキュラム・マネジメント」

教員の授業改善への努力は営々と続き、昨今は「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に力がそそがれています。しかし、現行の学習指導要領も改訂の諮問の話がささやかれています。その目指すところの実現は十分ではありません。そこで、学習指導要領の理念の実現の中心であるカリキュラム・マネジメントに焦点をあて、その充実を図るための対話・ワークショップ型の研修を行い、その成果を日々の教育活動に反映させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」のさらなる実現を目指します。

テーマIII (8月8日) 教師の学び合い 担当：教育実践総合センター教授 関口 睦

「明日の教育実践につながる教師の学び合い」

自己の教育実践を高めるためには、外へ出て学ぶことも大切なことですが、時間・予算が限られている中でもっと身近なところに目を向けて自らの実践力を高めていくことも必要な時代です。教師にとっての「最高の学びの場」を学校にしていけるためにどうしたらよいかを講義やワークショップを通じて参加者の方々と考え、自校で実践していくための場づくりを設定していきたいと思えます。「教員の育成」という視点ではなく「教師が育つ環境づくり」を仲間と共にどう構築していったらよいか自分なりの解が見えることをゴールとしていきます。

テーマIV (8月9日) 特別支援教育・チーム支援 担当：教育実践総合センター教授 内河水穂子

「特別な支援を必要とする子どもへのチーム支援の検討」

特別な支援を必要とする子どもたちの課題は、複雑化・多様化しています。その子どもたちへの適切な支援を検討するために、子どもの実態把握と支援方法、支援を検討するケース会議のあり方について考えていきます。また、学校内の教職員が連携協力するとともに、学校外の必要な関係者・関係機関とも連携協力するチーム支援について考えていきます。

「一緒に、子どもの支援について考えてみませんか？」

※ 受講希望者はテーマ(期日)ごとに申し込む。各テーマの定員は30名

II 日程

受付	12:20~12:50
研修1	13:00~14:30
休憩	14:30~14:40
研修2	14:40~16:10
閉会(振返り、アンケート記入)	16:10~16:30